

日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2020年12月中旬から2021年2月上旬までの財団の活動について報告します。

研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

1. 非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会について

令和3年1月30日（土）に、東京ガーデンパレスにおいて、非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会（委員長：坂本哲也）が開催され、「AED の設置基準に関する作業部会」から活動状況等について報告されました。

また、今回オブザーバーとして参加を依頼した一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の交え、フルオート AED について、活発な意見交換を行いました。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の影響により半数以上の委員が WEB での参加となりましたが、会議運営については支障なく終了することが出来ました。

2. 研修教育事業委員会について

令和3年2月16日（火）に東京ガーデンパレスにおいて、今年度第2回目の研修教育事業委員会（委員長：溝端康光）を開催いたしました。

令和2年度に実施した救急医療業務実地修練事業（新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修を含む）に係る各研修・講習会の実施報告等に基づき各研修事業の評価等について審議されました。

また、令和3年度救急医療業務実地修練事業について、コロナ禍による研修実施のあり方等について意見交換が行われ、委員会の意見等を集約し、提案・要望として厚生労働省に報告することとしました。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の影響により半数以上の委員が WEB での参加となりましたが、会議運営については支障なく終了することが出来ました。

3. 「財団全国 AED マップへのご寄付」受領式について

アコム株式会社より財団全国 AED マップへのご支援の申し出があり、令和3年2月17日（水）に当財団会議室においてアコム株式会社 営業企画部宣伝チーム 片木 菜緒様より目録の受領式を行いました。

財団全国 AED マップへのご支援につきましては、AED 設置登録情報の有効活用を図ることにより、緊急時に AED を探すことが容易になり市民による AED 使用が増え、心肺蘇生による救命率の向上に寄与するものです。